



エグチベジフル（株）新選果場起工式 ジャガイモ出荷に展望

5月12日、エグチベジフル株式会社（江口輝文代表取締役）の大型馬鈴薯選果場の起工式が行われました。

町のジャガイモ生産拡大に伴い、選果効率の向上を図るため、同社は大型馬鈴薯選果場を建設します。施設の広さは2358.7平方メートル、選果機は120t/日で処理します。

新選果場は今年12月完成予定で、来年の早春ジャガイモ出荷から運用される予定です。長島産ジャガイモのさらなる販路拡大に期待が込められます。



↑安全な施工を願う関係者ら

高齢者交通安全講習 実演を通して安全意識を再確認

山中城山大学（豊田成之代表）と山寺若生会（岡田利行代表）では、5月21日、今年度の高齢者学級開級式に併せて、山中公民館と山寺公民館で、交通安全講習を実施しました。県警の交通安全指導専門員を講師に迎え、ユーモアたっぷりの話術で笑いを交えながら講話がありました。実演講習では、模擬道路で事故事例を交えて、安全な道路の横断方法について学びました。また、交通安全教育車「さわやか号」に乗車し、運転シミュレーターで、ハンドル操作やブレーキなどの運転適性検査もありました。運転適性検査を受検した岡田利之さんは「合格で安心した。無理な運転は控えないといけない」と安全運転を再認識した様子でした。町では、これからも毎年2団体程度の講習を実施していく予定です。



↑講師の説明を真剣に聴く参加者ら（山中公民館）

中学生職場体験学習 役場の仕事を学んで

5月下旬、町内の中学校で職場体験学習が行われました。役場でも生徒を受入れ、主に町の施設である「水産種苗センター」と「レジャーランド太陽の里」で職場体験学習を実施しました。

鷹巣中学校の生徒らは、水産種苗センターで、水槽の掃除やヒラメの稚魚への餌やり、イワガキの手入れなどを体験しました。翌日、レジャーランド太陽の里で、接客や厨房で調理を学びました。

体験学習に参加した3年生の濱真治さんは、「大変だったけど、役場のいろいろな仕事を経験できて良かった」と感想を話しました。



↑イワガキの手入れを体験する生徒ら